

情報収集衛星に係る経費の令和6年度補正予算及び 令和7年度政府予算案

令和7年1月
内閣官房

1. 令和6年度補正予算の概要

安全保障及び危機管理に必要な情報収集体制を強化するため緊急に対応すべきものとして、以下の施策を行う。

- (1) 情報収集衛星に必要な設計、材料等の調達、製作等を可能な限り早期に実施することで、開発工程における重要な技術・品質の課題等を早期に把握・解決する。
- (2) 打上げ用ロケットの組立・試験工程の前倒しを実施し、ロケットの組立・試験工程の時間を十分に確保することで、ロケット製造体制を強化し、確実な情報収集衛星の打上げにつなげる。

2. 令和7年度政府予算案の概要

今年度に引き続き、ユーザー・ニーズを踏まえつつ、10機体制が目指す情報収集能力の向上を早期に達成することを目標とし、令和7年度については、以下のような方針の下、情報収集衛星の機能の拡充・強化を図る。

- (1) 光学8、9、10号機の開発を継続する。
- (2) レーダ7・8、レーダ9・10号機の開発を継続する。
- (3) 光学時間軸多様化衛星の開発を継続する。
- (4) レーダ時間軸多様化衛星の開発を継続する。
- (5) 令和8年度の運用開始に向け、第八期地上システムの開発を継続する。
- (6) 情報収集衛星システムの機能・性能の抜本的向上のため、重要技術の先行研究開発を継続する。

3. 令和6年度補正予算及び令和7年度政府予算案の内訳

(単位：億円)

経費区分	令和6年度 当初予算額 (A)	令和6年度 補正予算	令和7年度 政府予算案 (B)	対前年度 比較増減 (B)-(A)
(1) 情報収集衛星の運用等	317	0	374	57
(2) 光学8号機の開発	16	0	0	▲16
(3) 光学9号機の開発	57	42	62	5
(4) 光学10号機の開発	26	65	17	▲9
(5) レーダ7号機・8号機の開発	72	0	7	▲66
(6) レーダ9号機・10号機の開発	25	48	39	14
(7) 光学時間軸多様化衛星の開発	36	107	43	7
(8) レーダ時間軸多様化衛星の開発	37	63	50	13
(9) 衛星技術の調査研究等	36	0	30	▲6
合計	622	325	622	▲0

(注1) 四捨五入のため、必ずしも合計が一致するわけではない。

(注2) 光学9号機の開発には第八期地上システムの開発費を含む。

(注3) 令和7年度当初予算の数値は、政府予算案であり、今後変わ
りうる。

